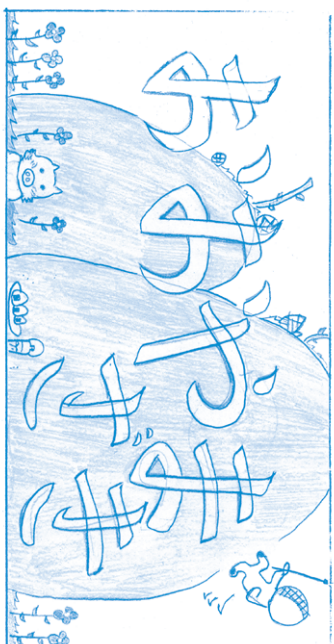


みんな 給食の時間だよ

議会だより No.91 3.1 2020



大山崎中学校美術部の作品です



変わった交通事情、これから変わる交通事情

まちの声を聴く

議会は、これからもまちの声を聴き、町に届け、よりよい街になるように取り組んでいきます。次は、あなたの声を聴きます。

町内の交通事情は、この数年で大きく変わりました。古戦橋の対面通行化、西国街道（大山崎集会所前と阪急駅前から茶屋前公園間）の車道・歩道の拡幅整備、防犯灯のLED化、長慶の人道橋、道路側溝への溝蓋設置など利用者にやさしい環境が、少しずつですが整ってきました。

しかし、昨年は阪急大山崎駅前で死亡事故が起こるなど、利用者にやさしい環境が十分に整っていない状況です。まだまだ言えない状況です。

また、大山崎町保育所前の町道は、昨年の暮れに速度40キロ規制になりましたが、地域の中にはより低速度の規制を望む声もあります。より低速度の規制には生活車両も通行しにくい道路への改良が必要など、利用者にやさしいあり方はこれからも考えていく必要があります。

これまで、議会でも何度も議論されてきた交通事情。これからも、利用者にやさしい街を目指して、交通のあり方を考えていきます。



信号待ちの車列



府道五条本交差点に進入する車



町道28号の様子



設置された規制標識

速度が規制された 大山崎町保育所前

これまで多くの議員が、危険箇所として指摘し、議会で取り上げてきた町道28号。通過交通車両の流入防止対策としての啓発看板や夜間でも見やすい反射蛍光タイプ看板の設置、車両通行数の実態調査や横断歩道手前にイラスト入りの路面啓発表示「こども横断注意」やカラーの舗装など事故防止対策が行われてきました。

しかし、朝夕にスピードを出して通過する車両があり、速度が出ないようなハンプ設置や、道路幅を狭めて道の形状を変えて走りにくく出来ないか、速度制限出来ないかなど、近隣住民から町や府民公募、公安委員会へ要望されました。

そこで、昨年11月には速度が40キロに規制されました。今後も速度規制の効果や歩道の段差解消など、住民の方の声を町に届けていきます。

渋滞する 五条本交差点

府道五条本交差点は、特に朝の通勤時間帯、国道171号の渋滞を避けるため、町内の生活道路を通過して国道478号に向かう大阪方面からの流入車両が多くみられます。また、町内各方面から国道171号や国道478号へ進入する車が集中します。

このため、府道五条本交差点では、国道五条本交差点の信号待ちによる渋滞のため、交差点内に複数の車が重なるように停車することがあります。

議会では、町内の通り抜けをなくせないか、横断歩道での歩行者の安全をどう確保するか、何度も議論してきました。

国は対策として、国道171号の右折車線を増やす予定です。右折車線が増え、国道の渋滞が緩和すると、通り抜け車両が減少し、安心して通行できることが期待されます。これからは通過交通、歩行者の安全確保に取り組んでいきます。

冬場の学童下校時は暗くて心配

保育所送り迎えの際スピードが出ている車を見かけます。



なかのゆうこ 中野裕子さん(鏡田)

運転手の意識が変わらないと、40キロ制限看板設置後も変わっていない。

子ども達の安全を守っていききたい



さとうただお 佐藤忠夫さん(松原)

町内や長岡京、大阪方面から車が一気に流れ込むので、安全最優先で。

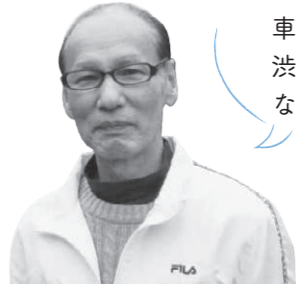
時限通行規制などの検討を



もり たみつ 森田満さん(宮脇)

交通マナーを守ってほしい

通学時間帯に住居地を猛スピードで通り抜ける車両が危険。また、渋滞で府道に出られない。



かけしたよしあき 寛下吉明さん(寺門)

12月議会 あらまし

消費税増税分の料金改正は可決、でも

中央公民館と歴史資料館の料金 改正は否決

11月28日から12月17日まで開かれました。町から、補正予算・条例改正・人事案件などが提案され、審査しました。また、保育所での事故を受け、原因の究明と再発防止、今後の対応について審議するため、臨時に委員会を開催しました。

条例
否決

大山崎町立中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例

消費税増税以上の料金改正は、公民館利用者の理解が得られない

中央公民館(本館と別館)の使用料は開館当初から据え置かれたまま、冷暖房使用料は平成22年度の開始から一度も改正されていません。
今回の改正案は、本館と別館の使用料

を約1.5倍(例：本館講座室の昼間4時間を600円を900円)に、冷暖房使用料は朝・昼・夜(3～4時間)の料金区分を1時間あたりにするものでした。

消費税増税分の経費は全住民負担となるので、受益者負担としての値上げは必要

議会の声

消費税増税以上の1.5倍の料金改正に、利用者の理解が得られるのか

賛成
波多野
井上博

賛成少数
2対9

反対
島・西田・山中・北村・嘉久志
岸・辻・朝子・井上治

公民館の建て替えが進んでいない最中の値上げは、利用者の理解が得られにくい



駐車場から見る公民館別館

条例
否決

大山崎ふるさとセンターの設置及び管理に関する条例

小中学生の歴史資料館入館料のあり方の検討がさらに必要

歴史資料館の入館料は、開館当初から据え置かれたまま、一度も改正されていません。また、小・中学生の入館料は免除されています。

今回の改正案は、入館料を約1割増額(例：大人200円を220円、小・中学生100円を110円)するものでした。

消費税増税分の経費は全住民負担となるので、受益者負担としての値上げは必要

議会の声

減免になっている小・中学生の入館料値上げは、どのような検討をしたのか

賛成
波多野

賛成少数
1対10

反対
島・西田・山中・北村・嘉久志
岸・辻・朝子・井上治・井上博

小・中学生の入館料免除なら入館料を定めないなど、分かりやすい内容に

他市の小・中学生の入館料はどうなっているのか



ふるさとセンター2階にある歴史資料館

あのような

事故を二度と起こさないように

安心・安全な保育実現に向けて、事故の検証を 全員一致 で賛成

臨時
委員会

園外保育事故の原因究明としっかりとした対応を
建設上下水道文教厚生常任委員会(11月25日)

山道散歩中に園児が滑落して重傷を負った公立保育所の事故について、状況と対応の説明がありました。
公立保育所の「豊かな感性、たくましい心身」を育成する自然の中での保育が評価されていました。しかし、町の説明では、慣れからくる油断や

過信、園外保育の危険に対する認識の甘さが見受けられました。議員からは、事故対応の検証や再確認の必要があるなどの意見が出ました。また、委員会として、山道に限らず、保育所3園とも全散歩コースの安全確認を求めました。



山の散歩道イメージ

条例
可決

再発防止のため、事故を検証する委員会の設置を
大山崎町重大事故等検証委員会設置条例

町が行う公務で、重大な事件事故が発生したとき、その原因究明、再発防止を迅速に行うため「重大事故等検証委員会」を設置する条例を可決しました。
検証委員会は、専門的知

見を有する5名以内の委員で調査・審議されます。議員からは、会議の公開や議会報告、重大な事件事故に至る危険のあった出来事も対象にすべきとの意見がありました。


予算
可決

検証委員会開催を
一般会計補正予算

重大事故等検証委員会の委員報酬(24万円)を新たに計上する令和元年度4回目の補正予算を可決しました。

知って委員会 総務産業・建設上下水道文教厚生・予算決算・広報・議会改革・議会運営

会議だけが委員会じゃない！議会での議案審査以外や開かれた議会への取り組みを紹介します




議会運営委員会

(朝子直美議員、嘉久志満議員、山中一成議員、岸孝雄議員、波多野底砂議員、井上博明議員)

その名の通り、議会の運営に関することを話し合い決める委員会です。本町議会では、各会派の代表で構成しており、6人です。

年4回ある定例会の日程や、町行政から提案される議案を3つのどの常任委員会で審議するか、住民から提出される陳情・請願の取扱いについて相談し、

決定します。

また、町の提案に対する修正案が議員から出された場合、本会議での議論の仕方について事前に確認し、当日の運営がスムーズにいくようにします。

議会は、住民に付託を受けた代表が議論する場としてふさわしく機能するよう、努力を続けることが必要です。そのため、定

例会終了直後の委員会では、問題点がなかったか振り返り、改善案など意見交換をしています。

委員長 朝子 直美



委員会機能の充実と円滑な運営を学びました

渋谷議長、山中委員長、北村委員長、西田委員長、辻委員長、朝子委員長

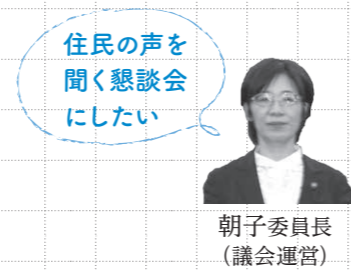
令和元年11月18日(月)の「市町村議会委員長研修会」に参加し、議会の活性化や委員会の審査能力の向上の取組みを学びました。これからの議会活動に活かしていきます。

テーマ「地方議会改革と活性化について」長野県飯綱町議会前議長 寺島渉氏

10年間の議会改革でめざした3つの柱は、
 ・町の追認機関から脱し、議会の権限と役割、責任を果たす
 ・「チーム議会」として政策力の向上、住民福祉向上へ町長と善政競争を推進
 ・議会への住民参加を広げ、住民の自治意識を高め、議会の

「見える化」を図る取組みとして興味深いのは、政策づくりを住民も交えておこなっていること。議会提言の政策を町長が実行した「時間外保育料の一部無料化」は、子育て世代の女性の提案だった。のちに、この女性が町議に立候補され、当選したのは議会改革の取

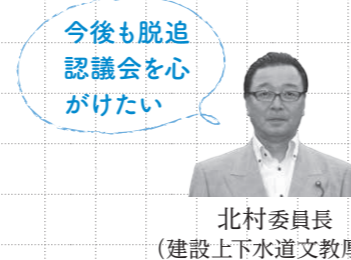
り組みの好事例だと思う。



テーマ「議会の審議能力・委員会の審査能力の向上について」三重県地方自治研究センター上席研究員 高沖秀宣氏

議会は、町から新年度予算の編成時期から説明を受け、説明が不十分であれば、十分な理解ができる資料を求めていくべきだ。また、問題点を見つけ、町

にない視点で質疑することが重要。そのため、否決や修正を含め、議案を追認するだけの議会にならないように活性化させることが必要。



議決結果

令和元年 12月議会

公民館・歴史資料館以外の消費税分の料金改正を可決

議案議決までの流れ

議案は、本会議で提案理由を説明した後、委員会で審査し、本会議で採決します

	委員会	本議会
提案説明	11/28	○
議案審査	11/28、12/9~11	○
討論・採決	12/17	○

「全員賛成」のもの

議案名・概要	委員会	討論	結果
令和元年度 歳入歳出補正予算			
一般会計(5回目) 3,074万6千円(0.5%)増 人事院勧告などを反映させた人件費の増額、天王山ハイキング道周辺の樹木伐採費、町道照明のLED化、児童手当等の対象者増加にともなう増額など	予		可決
国民健康保険事業特別会計(2回目) 468万4千円(0.3%)増			
下水道事業特別会計(2回目) 30万6千円増			
介護保険事業特別会計(3回目) 1,965万6千円(1.3%)増			
後期高齢者医療保険事業特別会計(2回目) 43万5千円(0.1%)減			
水道事業会計(1回目) 475万6千円(1%)減			
条例の制定			
大山崎町会計年度任用職員の給与その他の給付に関する条例 地方公務員法の改正を受け、町の非常勤の職員の給与などを適正化するための条例	総	賛	可決
料金改正(消費税率改定に伴うものなど)			
大山崎町消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	総	賛	可決
大山崎町立岩崎運動広場の設置及び管理に関する条例	建	賛	
大山崎町都市公園条例 消費税率引き上げにともない、その分を町の施設の使用料・手数料などに適正に転嫁するための改正	建	賛	
大山崎町上水道給水条例	建		可決
大山崎町公共下水道条例 水道法の改正にともない、上下水道の開栓工事などの業者を指定する際の手数料徴収を適正化するための条例改正	建		
条例の一部改正			
大山崎町表彰条例	総		可決
大山崎町職員の給与に関する条例	総		
大山崎町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例	総		
その他			
権利の放棄(水道料金債権)	建		可決
大山崎排水ポンプ場建設工事基本協定の一部変更	建		
私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願	建		採択
人事案件			
人権擁護委員候補者の推薦(磯川裕美子さん)			同意

(委員会)総：総務産業 建：建設上下水道文教厚生 予：予算決算
 (討論)賛：賛成討論 反：反対討論

12月議会 12/5(木)、6(金)

一般質問

10人が質問



一般質問・答弁は、町ホームページの「会議録検索システム」で、全文をご覧いただけます。



議員が、さまざまな課題について町の考えを確認する場です

一般質問の議員1人の持ち時間は、60分以内です。

一般質問の掲載内容は、本会議の討論をもとに各議員が作成しています。

大山崎町の防災施策について

岸 孝雄 議員



安心安全

地域防災力の向上と共助を推進する



地域、町内会での共用消火器設置例

問 地域単位での自主防災力の実態把握と整備の現状は。

答 自主防災組織が結成されているも人材不足など活動が低調な団体もあり、組織同士の連携を深め、人材育成等の共通課題に取り組みます。

再質問 地震時の火災対応としての消火器配備は。

答 阪神淡路大震災では、犠牲となられた方の死因の1割強が焼死によるものであったとされており、火災発生時の延焼拡大を最小限に食い止めるためには、初期消火が最も重要である。

再質問 地域ごとの共用消火器の配備が必要ではないか。

答 自主防災組織への補助制度で消火器を購入された自主防災組織もあり、今後も、自主防災活動への補助制度を通じて地域防災力の向上と共助の力による安心・安全のまちづくりを推進する。

園外保育での事故再発防止策は

井上治夫 議員



安心安全

徹底検証して安全優先で豊かな保育を

問 台風など天王山の変化、正規保育士の減少、子どもの危険対応能力低下に対して、町の安全への認識が不十分、議会のチェックも不十分だった。今回の事故に対する受け止めと対応を問う。

答 大けがをされた児童、保護者、関係の皆さんに心よりお詫び申し上げます。二度と繰り返すことのないよう、しっかりと検証し再発防止に努める。滑落を防げなかったこと、不適切な初期対応により正しい診断が遅れ、私への報告も遅れたことは大きな反省点である。

再質問 子どもたちの発達を保障する豊かな保育の継続と安全対策をどう考えているか。

答 自然の中で、子どもたちの豊かな感性やたくましい心身を育むため、積極的に散歩を取り入れており、保護者からも高く評価を受けてきた反面、保育士の間で危険な場所との認識が薄く、慣れや油断、過信があり安全への配慮が希薄であった感はない。山道の散歩は安全と判断できざるまで見合わせ、山に限らず散歩コース全般についても安全対策を考えて散歩を実施している。

再質問 子どもたちの命を預かる重責を担う仕事にふさわしい環境づくりに努力されたい。

乳児用液体ミルクの備蓄を

嘉久志満 議員



液体ミルクへの置き換えを順次進める

安心安全

問 令和元年6月の定例会で質問したが、乳児用液体ミルクの備蓄は販売価格が高いことで検討課題となった。昨今、乳児用液体ミルクを備蓄する自治体が増えてきている。避難所で、十分に水を確保出来ない場合や災害時のストレスや疲れにより、母乳が出にくくなることも想定される。また、哺乳瓶を洗う衛生的な環境が、避難先がない場合もある。この様なときに、水、燃料等を使わずに授乳することが出来る乳児用液体ミルクを、町として備蓄する考えはあるか。

答 液体ミルクの現状としては、地方自治体や大手小売店を中心に需要が非常に高く、生産が予約待ちになっている状況である。価格面においても、粉ミルクの2倍以上で推移している状況である。しかしながら、授乳にあたって水や燃料を必要としない液体ミルクは、それらの物資の調達が困難となる災害時において、特に重宝されるものである。価格面の課題についても、国内大手企業が相次いで新規参入する報道もされているため、町としても、順次、液体ミルクへの置き換えを進めていきたいと考えている。

第3保育所事故について

山中一成 議員



事故後3日経過してから町長へ報告

安心安全



保育所の散歩道

問 過去の公立保育所で起きた事故の内容と、その教訓はどのように生かされたか。

答 骨折など年に数回程度発生している。事象ごとの対策は、その都度講じてきた。重大事故検証委員会による検証も経て、再発防止を図る。

再質問 保育職場については、職員組合が大きな力を持っていると聞くが、職員組合はいくつあるのか。

答 一つである。

再質問 職員組合の正式名称は、上部組織は。

答 名称は大山崎町職員組合、上部組織は自治労連である。

再質問 職員組合の支持する政党は。

答 革新系政党である。

再質問 町長選挙で職員組合から支持を受けたか。

答 応援いただいた。

未利用町有地の利用について

井上博明 議員



公有財産の売却を含めて活用を検討

資産活用



町が借りている駐輪場用地

問 阪急大山崎駅前駐輪場の一部を、ジェイアール東海関西開発(株)から年間180万2400円で借りている。売却可能な未利用町有地を売却して、その資金で購入してはどうか。

答 町の公有財産については、土地及び建物の適正な取得や処分及び有効活用を図るため、様々な検討を行ってきた。未利用の売却や恒久的な歳入の確保の観点から、町有地の一部を公共性の高い携帯・インターネット基地局設置に対して通信事業者へ土地の有償貸付を行ってきた。また、今年度には消防団第二分団詰所跡地の売却を進めている。引き続き未利用地の売却等を含めた中で、公有財産の有効活用等の検討を行い、ひいては財源確保等に資するべく検討したい。

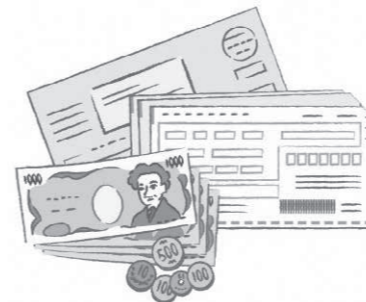


辻 真理子 議員

次年度の国民健康保険税見通しは

増額が予測される

社会保障



今でも高い国民健康保険税

問 令和2年度の国保税改定について、納付金と保険税の見通しは。

答 府に納める納付金、その原資の国民健康保険税は増額を予測。

問 大山崎町国民健康保険税条例の減免規定を根拠に、多子世帯への独自減免は可能か。

答 条例は「国民健康保険税の納税者のうち天災その他特別の事情のある者について特に必要があると認められる場合、当該納税者の申請で国民健康保険税を減免することができ」となっているため、「多子世帯」だけの根拠では減免は出来ない。

再質問 子どもの均等割を減免している自治体もある。町の子どもの均等割分の税収はいくらか。

答 令和元年11月末多子世帯の均等割分は約530万円。多子世帯への減免は財政的に困難である。

町内施設等の管理運営に関して

公園の健康遊具は再整備時に検討

施設運営



町内公園の健康遊具(西法寺地区)

問 町内の公園施設に健康遊具を増設する考えはあるか。

答 街区公園の遊具更新等を行う際は、町内会自治会などの意見を取り入れ、再整備を進める。

問 JR山崎駅駐輪場2階空きスペースを、緊急一時避難場所として、増加する外国人や遠方からの観光客のスーツケース等一時預かりとして、既存場所を有効活用してはどうか。

答 現状においては、一時避難場所にするには大変ハードルが高い。手荷物預かり場所として、観光客等のニーズを把握したい。

再質問 高齢者や大人の憩いの場として、公園に健康遊具を積極的に設置する要望を聞くが、特に天王山夢ほたる公園において、その考えはあるか。

答 現状、公園との契約条件や規制があるが、今後検討。

にしだてるひろ 議員



あさこなおみ 議員



町民参加で水道事業の検討を

方針を示したのち理解を求めていく

水道事業

問 京都府の計画に基づき、広域化・広域連携推進について圏域ごとに市町村水道事業連絡会議が行われたが、議論はどのような内容か。

答 市町村水道事業連絡会議では、南部圏域での広域化・広域連携の方向性や目標設定、検討すべき広域連携等の取組みに関して、意見交換や検討を行ったと担当職員から報告を受けている。注意深く情報を収集のうえ、慎重に対応するよう指示をしている。

再質問 連絡会議の資料として示された「検討のたたき台」では、圏域の目標として、府管水道も含む「事業統合」を指すとされている。また、スケジュール案では令和10年に「南部水道事業団」設立とされている。これらについて議論はあったか。

答 特段なかった。

再質問 町は、かつて水道を巡って、府との関係で、過大な水量を受け入れるという失敗をした。その結果、住民が高い水道料金で苦しんでいる。広域化によって、大山崎の地下水が飲めなくなるのではなど不安の声を住民から聞いている。府レベルでの検討内容も住民に示し意見を聞くことについて再検討を求めたい。

答 再検討する。

犯罪の抑制に防犯カメラの増設を

今年度10台運用、次年度の計画無し

安心安全



大山崎中学校前の防犯カメラ

問 防犯カメラの犯罪抑制効果は民間の設置会社発表では「犯罪が13%減少した」報告がある。犯罪解決にも役立つ防犯カメラの今後の設置計画を問う。

答 平成28年度設置済みの5台は、駅前や主要交差点など、交通の要衝に設置。昨年度から今年度の5台は、教育委員会が開催する通学路安全推進会議において、児童生徒の通学時に危険となる箇所に、向日町警察署と協議のうえで設置。今後の展開として、一定の整備が必要。しかし、カメラ撮影でのプライバシーへの配慮や設置コストとのバランスを見極めていく。

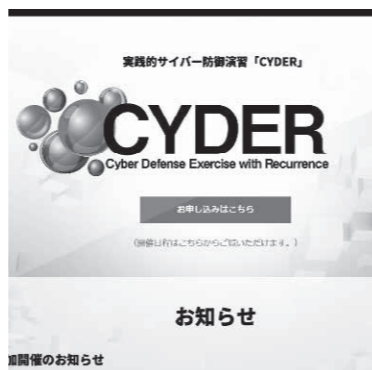
再質問 現状で、町内の安心安全のため、防犯カメラ設置は十分であるか、増設の計画はないのか。

答 通学路安全推進会議で必要とされた箇所には設置されるので、来年度の増設計画はない。

本町のサイバー対策について

積極的に職員を研修に参加させたい

安心安全



総務省・NICT提供CYDER

問 自治体の体制整備、国・府における各種研修はしっかりとしているのか。またその周知は徹底できているのか。総務省が進めるサイバー防御演習「CYDER」を受けた実績が無いのはなぜか。

答 各種研修については、職員所属長の希望により参加を判断している関係部署で共有。議員のご指摘の通り、総務省のサイバー防御演習「CYDER」は参加できていない。

再質問 現在の情報化時代に、住民の生命財産を守るのは当然だが、自治体は住民の個人情報や宝庫だ。なぜサイバー対策研修が出来ないのか。

答 人間的に難しかった。

再質問 本町のサイバー対策が脆弱なのは大きな問題である。木村やよい総務大臣政務官が非常に心配されている。今後この研修を受ける気持ちはあるのか。

答 なんとか受けたいと思う。

しま かずよし 議員



きたむらよしふみ 議員



議場でしか体験できない臨場感を

2.26(水) ▶▶▶ 3.24(火)



本会議	
議案説明	2/26(水)
一般質問	3/4(水) 5(木)
討論・採決	24(火)
いずれも午前10時開会	

委員会	
全員協議会	2/28(金) 13:30
議会改革特別委員会	28(金) 全員協議会後
議会運営委員会	3/4(水) 本会議後
総務産業	6(金) 13:30
建設上下水道文教厚生	9(月) 13:30
予算決算	10~12,16,17 10:00
議会運営委員会	19(木) 13:30
広報	19(木) 議会運営委員会後
議会運営委員会	24(火) 本会議後

請願・陳情は

2/27(木) 午後5時まで



話そう、議会と

住民との懇談会を2回実施



町議会は、住民の皆さんの意見を議会活動に反映させるため、「議会と町民の懇談会」を、平成31年4月から始めました。去年は、懇談会を2回



開催しました。今後も、住民の皆さんの声に耳を傾け、開かれた議会を目指しますので、懇談会の申込みをお待ちしております。

参加者の声

とてもなごやかに率直な意見交換ができました。よかったです。

水を考える会の皆さんから、「水道法が改定され、水道が民営化できるようになった。また、京都市は府内を幾つかの広域水道に統合する水道ビジョンを示している。足元にある地下水が飲めなくなるの不安」、「現状通り地下水と府営水道の2つの水源を守り、地下水を飲み続けられる水道事業を続けて欲しい」、「水道料金が高すぎる」などの意見が寄せられました。

2019
11.6

大山崎の水を考える会
大山崎町の水道事情

参加者の声

声が直接届く貴重な機会。保護者の声を安心安全な給食につなげて。

大山崎町PTA連絡協議会の皆さんから、「お弁当を作るのが経済的に大変な家庭がある」、「どんな形でも良いから、中学校給食をできるだけ早く実施して欲しい」、「小学校の給食施設老化で、いつ事故が起きてでも不思議ではないので不安だ。何とかして欲しい」、「保護者は給食問題がどうなっているかを知らない。説明会などをして欲しい。」などの意見が寄せられました。

2019
11.22

大山崎町PTA連絡協議会
小中学校の給食について

さあ、あなたの声を議会に



どんなことでもいいので、あなたのご意見・ご感想を議会にお寄せください。



つくっているのは、わたしたちです

発行 大山崎町議会
編集 広報常任委員会

委員長 辻 真理子 副委員長 島 一嘉
委員 嘉久志 満 岸 孝雄 波多野 庇砂 井上 博明

【表紙の写真】

大山崎小学校の給食時間の様子です。授業から解放された子ども達の笑顔とおしゃべりにこちらも微笑ましくなります。これ

からの大山崎を担う子ども達の給食に、議会も責任もって審議していきます。

編集後記
大山崎議会だよりは、町民の皆さんに「開かれた議会」を実践するための情報発信のひとつです。議会の審議や活動等を分かりやすく、より身近に感じて頂ける広報誌を目指していますが、如何でしょうか。議会の情報発信について皆様のご意見をお待ちしています。

井上博明